

平成 29 年 10 月定例記者会見

【10月6日(金)午前11時30分／4階特別会議室】

会見項目

- 1 第71回田老地区体育大会について (田老総合事務所)
- 2 第35回新里まつりについて (新里総合事務所)
- 3 宮古市中心市街地拠点施設及び自由通路(避難通路)の「愛称決定市民総選挙」について (復興推進課)
- 4 高田式体育教室「ダイヤモンドキッズカレッジ」について (生涯学習課)
- 5 鎌ヶ崎・光岸地まちびらきについて (都市計画課)
- 6 JR山田線宮古盛岡間運行再開記念「みやこ夢レールフェスタ」について (企画課・観光港湾課)

会見内容

別紙資料1～6のとおり。

記者との質疑

MIT岩手めんこいテレビ記者

資料3の「愛称決定市民総選挙」について、各5作品への絞り込みにおける愛称選考委員会の委員構成と選考理由を教えてください。

市長

選考委員会は学識経験者や市内関係団体の代表など9人で構成しています。親しまれるもの、覚えやすいものを基準として選考しました。

河北新報記者

この総選挙の有権者は市民だけになりますか？ また、生徒は1人1票でしょうか？

市長

愛称募集は全国公募でしたが、選考委員会において、投票は市民の皆さま、1世帯1票にしようということになりました。ほかに将来的に永く使っていただく世代ということで、市内の小学校5年生から高校生までの児童・生徒に1人1票の投票権を与えることになりました。投票は10月31日で締め切り、集計後の選考委員会を経て、広報1月1日号の中で発表する予定です。

河北新報記者

資料6の「JR山田線運行再開」に関連して伺います。回数乗車券購入費の補助事業

はいつから開始されますか。

市長

運行再開日に合わせて11月5日にスタートします。

朝日新聞記者

沿線の他自治体やJR東日本もイベントや利用促進策を検討しているのでしょうか。

市長

11月5日は盛岡市においてもセレモニーが予定され、盛岡にある山田線ファンクラブの皆さんにおかれては山岸駅周辺で何か検討していることがあると聞いています。

朝日新聞記者

鉄道関連で伺います。先般開かれた三鉄取締役会では今年度上半期の利用客が落ち込んでいると報告していましたが、どのように見えていますか。

市長

いろいろな要因が考えられますが、JR山田線が宮古盛岡間、宮古釜石間で不通となっていることが、一つの要因だと思っています。それから、田老のように近くに集落が無くなったり、いま住んでいるところが駅から遠くなったりした地域もありますので、(利用客数の回復には)一つ一つクリアしていく必要があるんだろうと思います。

朝日新聞記者

昨年同期と比べても減少しているということのようですが…。

市長

交通機関が止まっている期間(不通)が長くなれば長くなるほど、だんだん利用は減っていくものと考えます。

朝日新聞記者

バスや自家用車に替わった人が、鉄道(利用)に戻ってきてくれるのでしょうか？

市長

一気に戻ってこないものだと思っていますので、利用促進対策に取り組んでいく必要があります。

朝日新聞記者

山田線が移管されたあとの宮古釜石間について、駅名や路線名は年内をめどに決めると三鉄は言っています。北リアス線と南リアス線の間にあるから新名称を付けるのか、全線で統一した一つの名前にするのかによって、対外的なアピールが違ってくるように思いますが、市としてはどのようにお考えですか？

市長

いろいろ考えてはいますが、結論に至っていないというのが現状です。また、2つの新駅をつくらうとしていることもありますので、住民の皆さんとも相談して詰めていきたいと考えています。

朝日新聞記者

既存の駅についても、従来の駅名を残すのか、新しい名前をつけるのか、両方考えられると三陸鉄道は言っています。宮古市としての希望はどちらでしょうか。

市長

今の時点では決まっていません。これから詰めていかなければならないと思っています。

岩手日報記者

資料5の「鍬ヶ崎・光岸地まちびらき」に関連して、宅地の引き渡しはどの程度まで進んだのでしょうか。

市長

宅地の引き渡しは、宅地ベースで77%、面積ベースで79%となっています。

岩手日報記者

地権者の意向調査はどういう状況ですか？

市長

アンケートの集計はおおむね出来上がりましたが、詳しい分析についてはもう少し時間が掛かります。年内をめどに調査結果をお知らせできるよう進めます。

I B C 岩手放送記者

資料3について伺います。愛称決定発表セレモニーのような演出は予定していますか？

市長

広報の発行のタイミングを見ながら、テレビ報道で映えるような演出を検討します。

岩手日報記者

資料1の「田老地区体育大会」について、地区別（の大会）が再開するわけではないということでしょうか。

市長

軌道に乗っていない自治会や、再編成できていない自治会もありますので、現時点ではまだ時期尚早と判断しました。

資料 1 第 7 1 回田老地区体育大会について

趣旨・目的	生涯スポーツの推進と健康増進、地区住民相互の親睦と交流、地域の連帯感の高揚を目的とする。
日時	10月8日(日) 午前8時40分～午後2時20分
場所	田老第一中学校校庭 (雨天時はグリーンピア三陸みやこアリーナで内容を一部変更して実施)
主催	田老地区体育大会実行委員会
内容	8:40～ 9:00 合同演奏 (田老第一中と宮古北高の吹奏楽部) 9:00～ 9:15 マスゲーム (田老保育所) 9:15～ 9:55 開会式 参加者全員で入場行進。炬火 ^{きよか} 入場・点火など 10:00～14:00 競技 始走式、宝ひろい、田老名物、綱引き、拝借レース、 職場対抗パフォーマンスリレーなど 14:00～14:20 閉会式
特記事項	◎今年のテーマは「力を合わせて みんなが主役 田老大運動会」。 ◎姉妹都市の八幡平市から26人を招待し、競技を通して地区住民と交流する。 ◎姉妹都市の青森県黒石市からは、黒石市ボランティア協議会などが屋台村を開設し、大会を盛り上げる。
問い合わせ	市田老総合事務所 (☎87-2971)

資料2 第35回新里まつりについて

趣旨・目的	商工業、農林業の振興と地域特産品の開発を促進し、地区民総参加による手作りの「新里まつり」を通じて宮古市民のふれあい及び他市町村住民との交流の場を広げるとともに宮古市の活性化を目指す。
日時	10月15日(日) 午前9時30分～午後3時30分 (雨天決行)
場所	新里トレーニングセンター特設会場 (宮古市刈屋 17-3)
主催	新里まつり実行委員会
内容	<p>①地域特産品の販売 農産物の即売会、広域特産品販売 (宮古・下閉伊地区)</p> <p>②ステージイベント 招待郷土芸能演舞、オークション、バラエティ歌謡ショー、お楽しみ大抽選会</p> <p>③その他のイベント タイムサービス、宝さがし (小学生以下)、釣り堀コーナー、お買いもの福引抽選会</p>
特記事項	<p>◎前回(平成27年)の入込数は11,000人。 ※平成28年は台風10号の影響により中止。</p> <p>◎今年はカンカラ三線・演芸師として都内や全国のイベント出演で活躍している「岡 大介 氏」によるショーを行う。 岡氏が発売したCD「かんからそんぐⅢ」には、宮古市刈屋出身の作詞作曲家・鳥取春陽(とっとりしゅんよう)が作曲した「籠の鳥」が収録されている。</p>
問い合わせ	<p>市新里総合事務所 (☎72-2111)</p> <p>宮古商工会議所新里支所 (☎72-2231)</p>

資料3 宮古市中心市街地拠点施設及び自由通路（避難通路）の「愛称決定市民総選挙」について

趣旨・目的	この施設は、市民の皆様に親しみをもって利用していただくため、愛称をつけることとし、現在、選考しているところであるが、市民総参加で愛称を決定したく、「愛称決定市民総選挙」と称して実施しようとするもの。
投票期間	10月15日(日)～31日(火)必着
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■愛称決定市民総選挙の案内チラシは、広報みやこ10月15日号に折り込むほか、学校を通じて市内の小学5、6年生、中学生、高校生に配布する。 ■投票用はがきは、案内チラシから切り抜く。 ■投票方法は、一般市民は、主な公共施設に設置している提言箱に投函するか、郵便ポストに投函する。児童・生徒は学校に提出する。
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎宮古市としては、愛称決定のための市民による投票は初の試み。 ◎配布数は、市内全世帯と児童・生徒分を合わせて約28,000票。 ◎長く利用される施設であることから、宮古市の未来を担う児童・生徒の意見を集約するため、各学校に協力を依頼するもの。 ◎8月末まで行った愛称募集の応募数は、市内外から「中心市街地拠点施設」に405作品、「自由通路」に426作品が寄せられた。愛称選考委員会で一次審査をし、最終候補作品各5作品を選定した。市民総選挙はこの各5作品の中から1点ずつ選んで投票するものである。
問い合わせ	市復興推進課 拠点施設推進室（☎68-9089）

資料4 高田式体育教室「ダイヤモンドキッズカレッジ」について

趣旨・目的	宮古市復興推進スポーツチャレンジ事業として、東日本大震災により、市内の多くの運動場が損なわれており、市民の体力低下が懸念される状況にあることから、心身の健康増進を図ることを目的とする。
日時	10月22日(日) 午前9時～午後4時30分
場所	グリーンピア三陸みやこ 多目的アリーナ
主催	高田道場、宮古市、宮古市教育委員会
内容	<p>■アマチュアレスリングの要素を取り入れた高田道場オリジナルの体育教室。 マット運動を中心に “人の話を聞く姿勢” “身体を動かすことの楽しさ” “触れ合いの中から生まれる自己肯定感” をたくさん子ども達に知ってもらえるような指導を 高田延彦さん・向井亜紀さんはじめとする高田道場スタッフや県内高校レスリング部員が行う。</p> <p>■午前の部 時間：午前9時～正午 対象：小学3年生～小学6年生</p> <p>■午後の部 時間：午後1時30分～4時30分 対象：満5歳児～小学2年生</p>
特記事項	<p>◎前回参加者数 午前の部（小学3年生～小学6年生）・・・89人 午後の部（満5歳児～小学2年生）・・・85人 計174人</p> <p>◎高田式体育教室「ダイヤモンドキッズカレッジ」の宮古市開催は、今回で6年連続6回目。</p>
問い合わせ	市教育委員会 生涯学習課 体育振興係（☎68-9120）

資料5 鍬ヶ崎・光岸地まちびらきについて

趣旨・目的	鍬ヶ崎・光岸地地区で施行している土地区画整理事業において、道路等の公共施設の整備や、市街地の整備が一定程度進んできたことから、復興のひとつの節目として実施し、式典、フォーラム及びイベントの開催を通して、地元企業の再生や復興に向かっている宮古市の姿を市内外に情報発信することを目的とする。
期日	10月28日(土)
時間・場所	<p>【熱気球搭乗体験】(注)天候により中断・中止となる場合有り 8:00～14:00 / 鍬ヶ崎小学校校庭</p> <p>【記念式等】 14:00～18:00 / 鍬ヶ崎・光岸地地区土地区画整理事業区域内特設会場 (港町3番地内。ラウンドアバウト付近)</p>
主催など	主催：宮古市 共催：鍬ヶ崎地区復興会議
内容	<p>第1部 熱気球搭乗体験</p> <p>～熱気球に乗って復興した街並みを上空から眺めてみませんか～</p> <p>8:00 熱気球搭乗体験①(地区小・中学生) (初回搭乗時に地区小・中学生によるバルーンリリース有り)</p> <p>10:00 熱気球搭乗体験②(地区住民)</p> <p>12:00 熱気球搭乗体験③(一般応募者、先着120人)</p> <p>第2部 まちびらき記念式等</p> <p>14:00 まちびらき記念式(鍬ヶ崎小児童による「賛歌」合唱、二中学生による作文朗読等)</p> <p>15:00 山口太鼓演奏、さんますり身汁等お振る舞い、餅まき(抽選券付き)</p> <p>16:00 復興事業情報発信フォーラム及びパネルディスカッション 演題：「鍬ヶ崎の復興まちづくりの記憶」(仮題) 講師：屋井 鉄雄氏(東京工業大学 副学長)</p> <p>17:30 鏡開き、久保田みやびさん歌謡ショー、大抽選会(※) ※大抽選会の抽選券は15:00からの餅まきで配布。</p>
特記事項	◎熱気球搭乗体験③(一般応募者枠)には、当日の午前9時から11時まで鍬ヶ崎公民館で配布する「搭乗整理券」が必要。先着120人。
問い合わせ	市都市計画課 復興まちづくり推進室 (☎68-9105)

資料 6 JR山田線宮古盛岡間運行再開記念「みやこ夢レールフェスタ」について

趣旨・目的	<p>地域住民と来訪者の触れ合いや、地域と鉄道の魅力を発信することを目的とし、宮古駅前広場にて、ステージイベントや三陸鉄道乗車会等を行う。</p> <p>併せて、JR山田線 宮古・盛岡間 の全線運行再開を広く県内外にPRするため、宮古駅周辺を主会場としたセレモニー等を行う。</p>
日時	11月5日(日) 午前10時～午後3時
場所	宮古駅前広場・宮古駅
主催	みやこ夢レール創造事業実行委員会、宮古市
内容	<p>■みやこ夢レールフェスタ</p> <p>◆ステージショー ◆レトロ列車でいく三陸鉄道小本駅までの旅</p> <p>◆ミニSL乗車会 ◆物産販売 ◆餅まき</p> <p>■JR山田線 宮古・盛岡間 運行再開セレモニー【13:10～13:30】</p>
特記事項	<p>◎JR山田線 宮古・盛岡間 の運行再開日に開催する。</p> <p>◎宮古駅ホームで、上り列車の見送りと下り列車の出迎えを実施する。</p> <p>◇出発列車のお見送り 9:30 宮古駅発〔快速リアス・盛岡駅着 11:33〕</p> <p>◇到着列車のお出迎え 13:09 宮古駅着〔快速リアス・盛岡駅発 11:02〕</p> <p>◎川井小学校グラウンドで川井地区住民が歓迎の旗振り。</p> <p>通過時刻は 12:35 過ぎ（陸中川井駅を出発してすぐ）</p> <p>対象列車＝下り快速リアス〔盛岡駅発 11:02→13:09 宮古駅着〕</p> <p>◎運行再開に合わせ、回数乗車券購入費補助事業を開始する。</p> <p>JR山田線 宮古・盛岡間 の回数乗車券を購入した市民に対して、地域通貨リアスを交付（補助申請手続きが必要）。</p> <p>例）宮古・盛岡間の回数乗車券（11枚綴り）19,400円を購入した場合は、4,500円相当の地域通貨リアスを後日交付する。</p>
問い合わせ	<p>【運行再開について】市企画課 企画調整係（☎68-9064）</p> <p>【夢レールフェスタ】市観光港湾課 もてなし観光係（☎68-9091）</p>